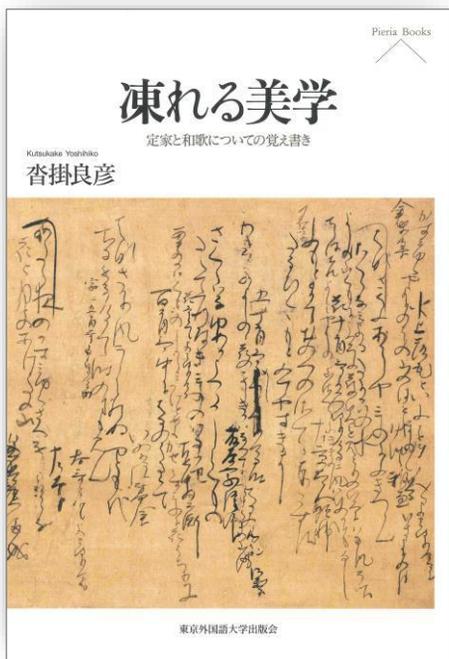


凍れる美学

定家と和歌についての覚え書き

沓掛良彦 著

四六変型判・並製・312頁・定価：本体2600円＋税



古今に冠絶した稀世の手練れ、藤原定家の「歌作り」を、和歌史という限定されたコンテクストから解放し、東西古典詩というより広い世界へと導く——新しい和歌論。

藤原定家は「本歌取り」という詠歌の技法を詩作の原理として、八〇年に及ぶその生涯で、実に四二〇〇首余りの歌を詠んだ。その高度な芸術的達成は、ヘレニズム時代のギリシア詩、ローマの詩、ルネッサンスのラテン語詩、一六世紀のプレイヤード派の詩、中国古典詩など、東西の中世詩・古典詩の中でも洗練を極め、一頂点をなすものである。王朝文化が終焉を迎えた中世初期という暗黒の時代に、天才詩人・定家とその一派の歌人たちは、いかにしてあの象徴性を帯び、形而上的なまでの詩的宇宙を創り上げたのか。

「定家という詩人は、一二世紀から一三世紀にかけての東西古典詩史の上で、最もまばゆい光芒を放った詩人ではなからうか。」(本書より)

【著者紹介】

沓掛良彦(くつかけ・よしひこ)

1941年生まれ。早稲田大学露文科卒業。東京大学大学院博士課程修了。現在東京外国語大学名誉教授。文学博士。

注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559
			沓掛良彦【著】 凍れる美学 ——定家と和歌についての覚え書き 四六変型判・並製・312頁・定価：本体2600円＋税
		冊	ISBN978-4-910635-15-6 C0095 ¥2600E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い